

令和2年度 東京都立第五商業高等学校経営報告（全日制課程）

本校は、昭和16年に東京府立第五商業学校として開校し、79年の伝統に支えられた、多摩地区唯一の商業高校である。勉学にスポーツにと文武両道を推進する地域に根ざした教育を実践して卒業生2万7千名余りの有能な人材を輩出し、各方面で活躍している。商業の専門高校としての本校は商業の専門高校としての使命を果たすため、商業に関する専門的知識と技術を習得させ、人間性を磨き、社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、自己実現に主体的・創造的に取り組む人間を育成していく。

重点項目 【評価基準 A：満足 B：概ね満足 C：不満足】※（ ）内の数値は令和元年実績

1 学校経営・組織体制

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①組織力を強化した学校運営の推進	<p>【取組】全教員の学校経営への参画を促し、学校課題の解決に向け各教科や校務分掌の中間まとめ・年間総括に基づいた課題解決と、自律経営推進予算の効果的な編成実施管理に取り組んだ。また、経営企画室の経営参画をより一層推進し、円滑な学校運営に努めた。</p> <p>【状況】創立80周年記念式典は次年度へ延期となったが、記念誌は3月までに完成した。コロナ渦の中、地域の商工会、国立市社会福祉協議会、東京都中小企業振興公社、学校運営連絡協議会との連携は一部にとどまったが、引き続き地域密着型のビジネス教育を推進していく。</p>	企画調整会議 全教員	B
②校内IT化と働き方改革の推進	<p>【取組】教務部を中心に早期にオンライン学習の取組を行い、校内ITチームは端末整備などに携わった。昨年より定期考査のマークシート方式の導入など校務のIT化による働き方改革を進め、教育内容の充実を図っている。</p> <p>【状況】教務部を中心にオンライン学習の試行を繰り返し、時間割通りのオンライン授業を確立した。働き方改革については、月45時間以上の超過勤務者が固定化されるなど課題が解決されていない。定期考査のマークシート方式の導入を更に促進するために、スキャナーを追加配備した。</p>	教務部 全教員 委員会	A
③喫緊の課題への対応	<p>【取組】校内研修をとおして、職務意識を高め、自覚ある行動を促し、服務事故を0件とした。また体罰のない指導の徹底に努めた。</p> <p>【状況】2022年度の新教育課程を完成し、東京都教育委員会との協議に入る。コロナ渦の中での確実な入選を行うため、早めに必要な検討を実施した。周年行事では記念誌編集委員会を中心に記念誌が完成した。</p>	教務部 全教員	A

2 学習指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①学力の向上	<p>【取組】教務部と教科主任会議を中心に、年間授業計画、学力スタンダード、技能スタンダード等に基づき学習指導をした。すべての教科において、主体的・対話的で深い学びの授業を目標とするとともに、語学力を育成する授業、オリンピック・パラリンピック教育、図書館に配備した新聞を活用した社会の出来事と関連させた授業、書評合戦等の読書活動の推進につながる授業等、五商の教育内容の質の保証を図った。</p> <p>【状況】学習課題を工夫し、家庭学習を推進したが、休日の学習が1年生でやや伸びただけにとどまった。主体的・対話的で深い学びや自学自習を生徒主導で行わせるため、学ぶことの意義を理解してもらうよう努力が必要。今後もビジネス科目の修得と進路実現のための資格取得を奨励するが、それだけではなく、普通科目の学習もおろそかにしないようにする必要がある。今年も学習到達度を測る各学年の全教科・科目の統一考査は実現した。</p>	教科 学年 教務部	B
②指導力の向上	<p>【取組】教科主任会議を中心に、生徒による授業評価（7月）や学校運営連絡協議会での授業評価協議、授業公開（土曜）、教員相互の授業見学（年3回）</p>	教科主任会議 教科	

	<p>をとおして指導方法の工夫・改善を図った。また、指導教諭による模範授業や授業公開（校内）、学校内外での研修成果を生かして、組織的に授業の内容や方法の改善・充実化を図り、学習指導の充実に努めた。</p> <p>【状況】習熟度別授業、少人数制指導に基づき、授業の効果的な展開と活用を図るため、さらに学習結果を残さなければならない。引き続き外部模試等による定点的な検証を行い、学力の定着、向上にむけた授業の工夫をはかり、生徒や保護者にフィードバックしたい。新学習指導要領等におけるルーブリック評価の研修をとおし教科ごとに指導内容・方法を研究紀要等の冊子にまとめた。</p>	教務部 商業科	B
③資格取得推進	<p>【取組】資格取得を年間指導計画の重点事項に位置付け、該当教科が組織的、計画的な指導の強化に努めた。教科指導の充実、日々の補習・講習の実施と拡充、個別の支援等を重ね、生徒の興味関心を捉え、学ぶ意欲を高める努力をした。</p> <p>【状況】 習熟度授業 英語科 全商英 語検定 1級 3名 (15名) 商業科 全商簿記実務検定 1級 30名 (25名)</p>	教科	B
④読書に親しみ、読書率の向上を図る	<p>【取組】司書教諭、図書館運営委員会を中心に、利用しやすい図書館運営、図書委員による読書活動の推進など、社会人としての感性をはぐくむ教育環境を整え、読書率の向上を図った。</p> <p>【状況】図書委員主催校内ビブリオバトル開催、都主催ビブリオバトル参加。次年度はさらに不読率を減少するための工夫を講じる。学校全体不読率47.1%</p>	教務部 委員会 司書担当	B

3 進路指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①キャリア教育の充実	<p>【取組】進路指導部が中心となり、本校のキャリア教育の全体計画に基づく3年間を見とおした進路学習の改善と充実を図った。また、3学年とともに卒業後のフォローアップ指導も含めた本校の進路指導を充実させるとともに、進学先や就職先の拡大に努めた。</p> <p>【状況】1学年では、「ライフデザイン・社会体験学習」を中心に大学研究や業界研究・企業研究、2学年では、キャリアに関する講演会、3学年では面接、ビジネスマナーなどの体系的な進路指導を行った。1年生のインターシップは中止となった。4年制大学56名、短大4名、専門学校61名、就職73名</p>	進路指導部 学年 教科	A
②連携と情報の共有	<p>【取組】進路指導計画に基づき、進路指導部と学年の連携を密にし、一貫性ある適切な指導を実践、保護者に対し必要な情報を積極的に提供、生徒一人一人の進路実現を図るよう努力した。</p> <p>【状況】外部の教育力を活用し指導の充実に努め、組織的進学指導体制の構築を目指し、進路指導部が実施した。</p>	進路指導部 学年	A
③進学指導の推進とファインシステムの効果的な活用	<p>【取組】大学進学については、約40%が学校選抜型推薦を利用している状況であるため面接などの指導を重点的に行った。</p> <p>【状況】大学進学へのニーズが増えていることに対して、多様な入試に対応できる指導法を全教員で研究し、生徒が進路実現に挑戦する姿勢・態度を養う努力をする必要がある。さらに、模擬試験の実施運営を現在の教務部から進路指導部へ移管し、研修をとおしファインシステムを効果的に活用するための努力が必要である。</p>	教務部 進路指導部 学年	B

4 生活指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①本校の生活指導規準に則った生活指導の徹底	<p>【取組】生徒一人一人が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付け、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができる能力を高めるよう努力した。また、生徒の自覚ある行動を促し、集団生活における社会のマナー、モラルについて考える態度を養い、学校への帰属意識を高めた。自転車通学者が増</p>	生活指導部 学年 全教員	

	<p>えてきたことに対し交通ルールやマナーの指導を実施した。</p> <p>【状況】生活指導部を中心とした、朝の挨拶、交通安全、学校施設の適切な使用の確認等、徹底を図る必要がある。定められた生活目標のもと、生活指導部と各学年を軸に、全教職員が協力し、規範意識の向上を図りたい。</p> <p>自転車事故発生 2件、苦情 4件、頭髪及び服装指導月 1回（8月除く）実施、全教員体制での身だしなみ強化週間の実施</p>		B
②生命・人権尊重教育の推進、豊かな心の育成	<p>【取組】生命尊重と思いやりの心を育み、五商生としての誇りと自覚をもたせ、帰属意識を高めた。各学期（年 3回）にいじめに関する調査を行い、生徒の状況に応じて聞き取りを行うなど、いじめの撲滅と未然防止、早期解決を徹底した。</p> <p>【状況】新型コロナウイルス感染症防止の観点から、保健委員会・視聴覚委員会を中心に毎昼食ごとの放送による呼びかけを徹底した。</p> <p>保健講話、SC講話、全校生徒へのアンケート調査（年 3回）実施</p>	生活指導部 保健相談部 学年 全教員	A
③美化意識の向上	<p>【取組】清掃活動を徹底し、自ら学ぶ場所や使用する場所を整える態度を養った。新校舎になって間もないため、日々環境維持に努めた。</p> <p>【状況】美化委員会が中心となり、各教室からごみ箱の撤去を行い、不燃ごみ、可燃ごみともに大幅な減量をすることができた。このことが、今後の社会づくりを考える契機となった。</p>	保健相談部	A
④セーフティ教室、防災訓練の実施	<p>【取組】薬物乱用防止に関するセーフティ教室を実施し、危険を回避する能力を高めた。年間の避難訓練をとおして、災害から身を守る意識を高め、自助・公助・共助など救助や支援の在り方を習得し、自己の役割を認識させた。</p> <p>【状況】セーフティ教室（1、2年）、避難訓練（2回/年）</p>	生活指導部 学年	B

5 特別活動・部活動

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①生徒が主体的・意欲的に参加する魅力ある学校行事の工夫・改善	<p>【取組】学校行事やホームルーム活動、生徒会活動について、生徒が主体的に関わるよう工夫を図り、リーダー養成に努めた。今後も生徒が意欲的に参加できる魅力ある学校・学年行事の工夫・改善を行う。</p> <p>【状況】体育祭は、体育発表会として12月に学年ごとに行ったが、文化祭と合唱祭は、中止となった。</p>	生活指導部 学年 顧問	B
②部活動の活性化	<p>【取組】顧問と外部指導者、部員相互の関係を良好にし、人間力と技能の向上に努め、リーダーの育成に努めた。全学年において生徒の特性に応じた部活動への加入を奨励し、学習と部活動の両立をはかり、各種競技会への参加と上位入賞を目指した。</p> <p>【達成状況】部活動加入率 89% (89%)</p>	生活指導部 学年 顧問	B
③豊かな国際感覚とボランティア精神を育む資質や能力の育成	<p>【取組】東京 2020 大会に向け、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、豊かな国際感覚とボランティア精神を育むとともにグローバル社会に適応する資質や能力の育成に努めた。国際理解教育では、英語学習や JET の活用をとおして、文化の多様性を学び理解を深めた。</p> <p>【状況】異文化理解を深めるとともに日本文化の発信力を高める良い機会を得た。今年度は、企画していた講演会や行事などの多くは中止となった。</p>	生活指導部 学年 顧問	B
④主権者教育の推進	<p>【取組】主権者教育として、社会の一員としての自覚を促し、社会的・政治的な問題についての的確に判断する能力を養った。また、政治的教養を育むため、新聞に触れる機会を増やし（図書館に新聞 6 紙を配置）、物事を公正に、適切に判断する力を身に付けていく努力をした。</p> <p>【状況】公職選挙法改正、選挙年齢引き下げに対応して、3 年生全生徒を対象に公民科教諭による授業を実施。</p>	生活指導部 教科	B

6 健康づくり

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①心の教育の推進	<p>【取組】保健相談部が中心となり、スクールカウンセラーと協力し、美化や保健、心身の健康について、よりよい環境づくりに主体的に関わろうとする生徒の育成に努めた。また、教育相談を充実させ、担任、養護教諭、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターそれぞれが連携を密に情報を共有し、生徒の心のケアに努めた。</p> <p>【状況】教育相談委員会開催（3回）・SCによる全員面接実施（1年）</p>	保健相談部 生活指導部 学年 教科	A
②体力向上の推進	<p>【取組】基礎体力の向上のため、体育の授業に補強運動を取入れるなどして体力の保持・増進に努めた。また、生徒の健康の保持・増進に努め、体育活動、部活動中の事故防止にも努めた。</p> <p>【状況】今年度は、授業内でのマラソン記録会を実施。体力テストの結果を踏まえ、体育の授業では、出来る限り運動量の多いスポーツと、それぞれの種目の基本技能の習得を中心に実施した。</p>	保健体育科 顧問	A
③保健・健康教育の推進	<p>【取組】学校保健計画をもとに、関係機関との連携を図りながら生徒の健康づくりを推進した。保健講話をとおして生徒自らが健康を意識し、自己の健康管理に努め、疾病予防などの指導を推進した。</p> <p>【状況】保健講話の実施（1年）</p>	保健相談部	A
④教職員の健康維持管理の推進	<p>【取組】定期健康診断受診を推奨し、健康管理に努め、心身の健康保持と改善に努めた。</p> <p>【状況】教職員の健康診断受診率 86.3% (85%)、産業医による面接実施</p>	管理職 全教員	B
⑤教職員のライフ・ワーク・バランスの推進	<p>【取組】「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が週に1日以上、定時退庁ができるよう推奨。また、昨年度より定期考査にマークシートの活用を推奨し、採点業務の軽減を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進している。</p> <p>【状況】年休15日以上全員取得。時間外労働45時間超え教員平均4名</p>	管理職 全教員	B

7 募集・広報活動

今年度の取組目標	具体的な方策	担当分掌等	評価
①募集・広報活動の充実	<p>【取組】昨年、入試の改善を行い、推薦枠15%を30%、小論文を作文に変更した。コロナ禍の中、早々にオンライン学校説明会のサイトを設置するなど、五商の学校広報活動の充実化を図れた。また、学校見学会、学校説明会、個別相談会のほか、自治体等で実施する合同説明会において本校の教育を積極的にPRした。</p> <p>【状況】今後も学校案内を刷新し、動画を作成するなどし、中学生に対して、学校の情報をわかりやすく伝わるようにしていく。 推薦入試2.56倍(1.97倍)・一次募集1.35倍(1.18倍)</p>	教務部 委員会 全教員	A
②学校情報の発信	<p>【取組】ホームページを随時更新し、生徒の活躍など、五商の取組を積極的に発信し学校広報活動を推進した。また、校内では各学年担任による日常の連絡やメール配信の徹底、各行事後のClassiの活用やホームページの充実、保護者会、三者面談の開催等により、家庭との緊密化を図った。</p> <p>【状況】ホームページ更新回数100回以上(100回以上)、生徒の主体性を育みながら、今後も積極的に学校の情報をメールやClassiで発信する。</p>	学年 全教員	A
③開かれた学校の推進	<p>【取組】地域ボランティア等への参画、美化活動を通じた地域貢献、部活動における地域連携協力の充実を図っていく。</p> <p>【状況】コロナ禍の中、限定的な地域貢献を実施。</p>	学年 全教員 顧問	B

【重点目標達成のための具体的方策】

重点目標	具体的な数値目標															
①ミドル層を活用して組織力を強化した学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート回収率 ・生徒の学校満足度 ・生徒による授業評価による校内研修 ・研究授業 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">生徒</td> <td style="width: 20%;">95%以上</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95%以上</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>2回以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>6回以上</td> </tr> </table>	生徒	95%以上	保護者	95%以上	地域住民	20%以上	教職員	100%		80%以上	年	2回以上	年	6回以上
生徒	95%以上															
保護者	95%以上															
地域住民	20%以上															
教職員	100%															
	80%以上															
年	2回以上															
年	6回以上															
②カリキュラムマネジメントによる教育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価において以下の数値を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 予習・復習して授業に臨んだ 資格指導についての指導体制が充実 一日の家庭学習時間1時間以上の生徒 ・卒業生三冠以上 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">50%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50名以上</td> </tr> </table>		50%以上		80%以上		30%以上		50名以上						
	50%以上															
	80%以上															
	30%以上															
	50名以上															
③組織的な進路指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望達成率 ・模擬試験 ・進路説明会 ・進路講演会 ・進路だより発行 ・在り方・生き方を踏まえた進路講演会 ・学校評価の「進路指導満足度」肯定的回答 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">100%</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>3回以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>3回以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>3回以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>3回以上</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>1回以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80%以上</td> </tr> </table>		100%	年	3回以上	年	3回以上	年	3回以上	年	3回以上	年	1回以上		80%以上
	100%															
年	3回以上															
年	3回以上															
年	3回以上															
年	3回以上															
年	1回以上															
	80%以上															
④生徒の自覚ある行動を促す生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学校行事への満足度 ・問題行動 ・自転車事故発生 ・苦情 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">70%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>5件以下</td> </tr> </table>		70%以上		0件		0件	年	5件以下						
	70%以上															
	0件															
	0件															
年	5件以下															
⑤学校行事、部活動、生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率 ・奉仕体験活動、地域交流、ボランティア活動参加生徒数 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">90%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ600人以上</td> </tr> </table>		90%以上		延べ600人以上										
	90%以上															
	延べ600人以上															
⑥心の教育の推進と体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・健康講話・交通安全教室・セーフティ教室の合計実施回数 ・精神科医やSCによる学校保健支援事業の実施 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">年 4回以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年 4回以上</td> </tr> </table>		年 4回以上		年 4回以上										
	年 4回以上															
	年 4回以上															
⑦地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会の延べ参加者数 ・教員の中学校訪問 ・応募倍率 ・ホームページの更新回数 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">1,500人以上 (保護者含む)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100校以上</td> </tr> <tr> <td>推薦入試</td> <td>2倍以上</td> </tr> <tr> <td>一般入試</td> <td>1.2倍以上</td> </tr> <tr> <td>週</td> <td>2回以上</td> </tr> </table>		1,500人以上 (保護者含む)		100校以上	推薦入試	2倍以上	一般入試	1.2倍以上	週	2回以上				
	1,500人以上 (保護者含む)															
	100校以上															
推薦入試	2倍以上															
一般入試	1.2倍以上															
週	2回以上															